

安全利用点検(ゴールデンウィーク前)実施



立山砂防事務所では、平成14年度から、砂防施設とそれに隣接する公園施設等について安心して利用していただけるように大勢の人が訪れるゴールデンウィーク前と夏休み前の年2回に地域住民の皆さんや公園管理者などと共に安全利用点検を実施しています。

この度、平成27年度ゴールデンウィーク前の点検を4月21日(火)に行いました。点検箇所は、常願寺川水辺の楽校(本宮砂防堰堤周辺)、立山1号公園(藤橋左岸橋詰)、千寿ヶ原緑地公園(真川右岸)の3箇所であり、「人・川ふれあい連絡会」のメンバーの地元自治会を含む計22名が参加して点検を実施しました。

施設の損傷等や転落等の危険性、柵や看板等の設置、想定される危険に対する対策が講じられているか等を点検表に基づきチェックを行い点検しました。その結果、積雪などにより鉄ピン・ロープの破損やベンチのグラツキ等4箇所の不具合が見つかり、応急的に鉄ピン・トラロープを設置するとともに、今後の対応については早急に補修等を行います。



木製ベンチが不安定であり補修
(常願寺川水辺の楽校: 富山市小見滝見台)



参加者22名での点検前の行程確認
(常願寺川水辺の楽校)



斜面崩壊のため進入禁止柵を設置
(常願寺川水辺の楽校: 立山町側斜面)

「人・川ふれあい連絡会」の概要
この連絡会は、本宮砂防堰堤及びその周辺施設を豊かな自然、砂防の歴史や地域の人々とのふれあいの場として安全に活用することを目的に平成18年に設置されました。
構成メンバー: 本宮、芦峯寺、小見、亀谷、和田、花きり、粟巣野、原、横江、千垣地区の各総代及び立山青少年自然の家、小見小学校、立山自然学校、立山カルデラ砂防博物館、立山・神通砂防スペシャルエンジニア、立山町、富山市並びに立山砂防事務所